

上高がユニクロとコラボ！ 古着を集めて国際協力

上ノ国高校では、国際協力活動の一環として、衣料品メーカーのユニクロが行っている古着回収による難民支援プログラムに参加しています。

この活動では、難民キャンプなどで特に不足している子供服の収集を目的としており、上高生は町内の小中学校に赴いて古着の回収ボックスを設置し、児童達にいらなくなった衣服の提供を呼びかけました。

説明を受けた児童達は、自分たちと同じような年代で、衣服にも困る生活をしている子ども達が世界に沢山いることを知り、難民について考えるきっかけとなったようです。

この活動は11月6日まで続けられ、集められた衣服はユニクロを通して、難民キャンプへと送られます。



たくさんの友達 たくさんの笑顔



9月5日に河北保育所、12日に上ノ国保育所において、それぞれ運動会が開催されました。

両保育所では、保育料減免などの本町の子育て施策の影響からか、昨年4月と比較して8月末の入所児童数が52名増の135名となっています。

上ノ国保育所では、雨天により運動会の会場が保育所グラウンドよりも広い町民体育館に変更となったものの、2階席までがぎっしりと埋まるほどの親御さん等がかけつけ、いつも以上に賑やかな雰囲気となったようです。

地域を支えた方々へ 感謝の敬老会開催

9月20日、汐吹地区を皮切りに敬老会が開催され、多年にわたって地域に貢献されてきた方々が楽しいひとときを過ごしました。

敬老会では、各地区で様々な趣向を凝らした出し物や歌、踊りなどが企画され、地域のお母さん方が料理を振る舞うなど、高齢者の方々は嬉しい心くばりに感謝している様子でした。

この日、訪れた汐吹地区でも、魚介類や野菜などを使った手作り料理が数多く振舞われ、参加した方からは「敬老会では毎年美味しい料理を食べさせてもらってありがたい」「来年も来たいから長生きしなきゃね」などの声もあり、食べ物と出し物で本当に楽しまれている雰囲気伝わってきた敬老会でした。



未来の自分を見つめて



9月16日から3日間、町内外23事業所の協力のもと、上ノ国中学校2年生49名による職場体験学習が行われました。

職場体験学習は、生徒が自らの将来と労働を肌で感じることで、できる貴重な機会として、毎年行われています。

各職場を訪れた生徒たちからは、労働に触れることへ仕事への新鮮さや大変さなど様々な感触を得た様子で、精力的に仕事に取り組んでいました。

また、齋藤誠さん（字小安在）の農場を体験学習先に選んだ女子生徒4人は、いずれも家族などに農業関係者がおり、いつか農業に携わりたいと具体的な将来像を考えている様子でした。